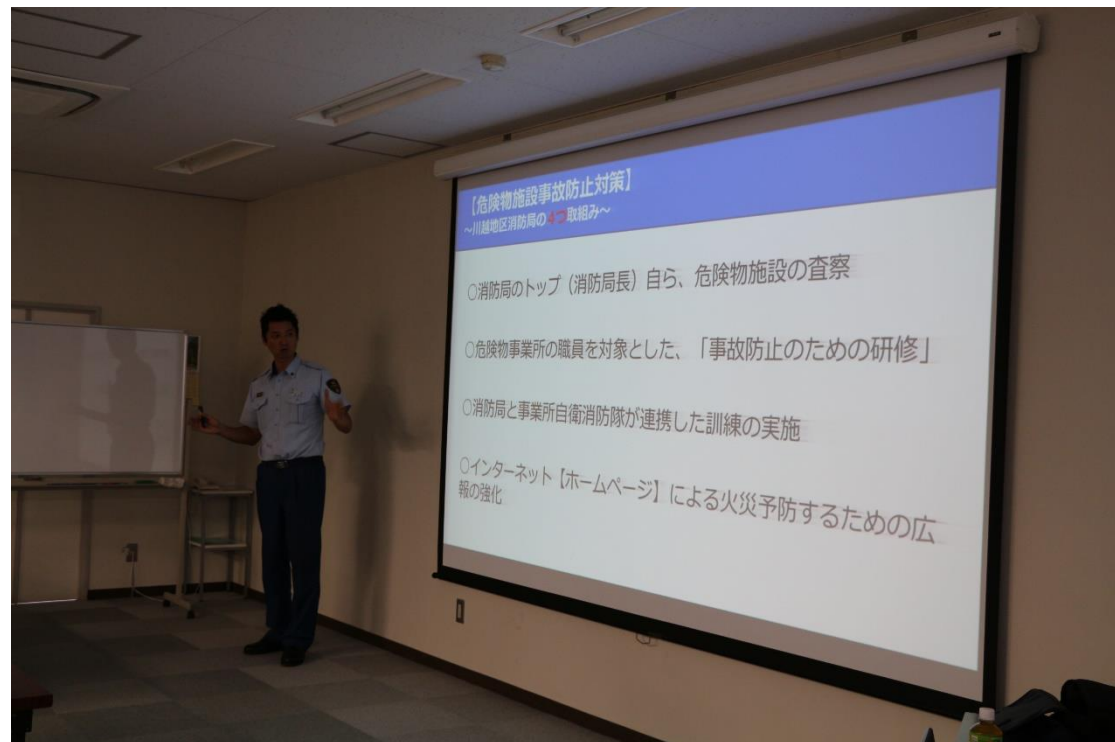


【危険物による火災を防げ！】

～災害を防ぐため、和光純薬工業(株)東京工場の社員を対象に研修を行いました。～

川越地区消防局予防課は、川越市西部の大規模な危険物事業所「和光純薬工業(株)東京工場（川越市的場地内）」の社員を対象に、平成29年7月5日（水）危険物による火災を防止するための研修を行いました。

研修に参加した佐藤さんは、【研修を通じて、危険物の保安対策に対する「共通認識」を持つことの重要性を改めて実感しました。危険物の危険性は一人一人が認識していますが、「危険物を安全に取り扱うためには何ができるのか？」「万が一の事態が発生した時は、どのように対応するのか？」ということについて、働く一人一人が共通の認識を持つことの大切さを学びました。これからも引き続き安全操業に努めていきたいと思えます。】と話していました。



～主な研修内容～（川越地区消防局）

《要約》

- 01 ～危険物施設は減っているのに、危険物施設の**事故**が増えています～
- 02 ～危険物施設の火災の約80%は【製造所・一般取扱所】で発生しています。
- 03 ～静電気火災を防止するためには、**チェックリスト**を活用する～
- 04 ～安全対策は「共通認識が大切」～
- 05 ～保安監督者の責務と役割～
- 06 ～効果的な保安教育のススメ～
- 07 ～特殊消火設備の特性～
- 08 ～東京オリンピック開催に伴う危険物施設の保安対策～

- 和光純薬工業(株)東京工場 防火管理者兼防災管理委員長の砂田様からお話を伺いました。

○組織的な危険物災害防止対策

・和光純薬工業(株)東京工場では、危険物災害を防止するために「**防災管理委員会**」という専門部会を構成し、組織的な危険物災害対策を行っています。

【構成】 各部署に防災に精通した委員を配置

【活動】 各部署の災害特性を分析

※例・危険物を取扱う部署

・女性が多くを占める部署

➡災害特性に応じた具体的な訓練を行う。

➡危険物火災や漏洩対策などを中心とした訓練の実施

➡避難誘導や応急救護などを中心とした訓練の実施

【徹底した **P D C A サイクル** の構築】 ➡訓練実施後は、必ず検証を行い次回の訓練につなげる取組み

○ソフト面による対策（安全研修）

- ・和光純薬工業(株)東京工場では、危険物災害を防止するために**幹部自ら**安全教育を学ぶため様々な研修を受講しています。
- ・**部課長以上の管理、監督的な地位にある社員**には、定期的に消火設備の使い方について研修を行っています。**最悪の場面を想定**した訓練を行っています。

○ハード面による対策

- ・一定の震度によって、危険物設備が停止するシステムを構築することで、震災時の出火防止を図っています。
- ・危険物施設に可燃性ガスを検知する設備を設置し、一定の可燃性ガス濃度を認めた場合、警報が流れるシステムを構築しています。